

ヒートアップとどろき大会杯・Kドリームス杯

FII

川崎競輪
ナイター



6/30(水) 7/1(木) 2(金) 川崎スポーツ

レース展望

6月30日から開催の川崎競輪はヒートアップ杯・Kドリームス杯として行われるF2戦。今年も後期に入り全員が期のスタートとなる。S級での実績ある選手に、力ある若手も揃う。2班戦と、今シリーズからは119期生が新人戦を経ていよいよ実戦デビューを果たす。

1、2班戦の地元南関東勢は奥原亨(神奈川103期)が中心。川崎のホーム戦を走って間もないが、前は決勝進出したが優勝は逃しており、今シリーズは好結果を残したいところ。今期は1班の格付けになり、S昇級を確実にするために好スタートを切りたいはず。南関の先導

役として期待されるのが齋木翔多(静岡115期)で、鋭いダッシュから繰り出す積極先行が魅力だ。北日本勢はやや手薄なあっせんとなるが、優勝候補の一角として目される小笠原光(岩手117期)が順当に勝ち上がれば大きな戦力となるし、小笠原自身もいかにして一人でも多くのラインを勝ち上がらせるかも課題になってくるだろう。関東勢は戦力が豊富。タテ、ヨコ自在に何でもこなせる鈴木謙二(東京97期)の総合力は今シリーズ断トツで優勝候補の筆頭。宗景祐樹(栃木84期)や佐藤学(栃木93期)といったマーク陣が豊富に揃ううえに、

予選から山田雄大(埼玉117期)や寺沼伊織(東京115期)らの若手機動型が勝ち上がれば更に戦力は増す。今シリーズは中近勢も参戦。地脚強力な中野雄喜(京都111期)、キメ脚冴えている高間悠平(福井95期)を中心に、安藤直希(京都117期)が勝ち上がれば強力な布陣となる。

チャレンジ戦は119期の新鋭が4名。田口勇介(秋田・在在27位)、小池千啓(栃木・在在59位)、鈴木浩太(千葉・在在6位)、新村穰(神奈川・在在51位)がデビュー戦Vに向けて火花を散らす。

新期スタートで気迫十分の二戦

A級
主力選手



鈴木謙二 東京 97期

前回当地で決勝3着だった鈴木謙二が約1か月で再び登場する。近況は「自力と言い切れる感じではない、前々を意識した走り」が基本です。と話す通り、前回当地の決勝では、2段駆け態勢の南関東勢の番手まで追い上げて分断に成功。最後は番手から抜け出して後ろの須賀和彦(茨城89期)と2、3着に。単騎の高橋幸司(山形99期)にまくられたものの、劣勢と見られて一戦でラインにチャンスを与える走り方で魅せた。現在は「前々」というコメントが基本だが、何でもこなせるオールラウンダーと見るべき。戦法的な面でもまだまだ迷いはありそうだが、連日中心に推せる。今シリーズは優勝をもぎ取るか?

A級
主力選手



小笠原光 岩手 117期

昨年117期でデビューを果たした小笠原は佐藤友和(岩手88期)に師事する期待の若手。昨年10月には特別昇班を決めて、今年の前期はS昇級を決定的な競走点にまでに伸ばした。持ち味はダッシュ力を生かした自力勝負だが、積極的な走りも増えて末脚も良くなってきた印象。昇班当初はかなり苦戦していたが、昨年末に平塚を走った際には準決勝で当時A級で抜群の強さを誇っていた金子幸央(栃木101期)を相手に先まくりを打ち、直線で捕まり2着。初優出を決めたと同時に、高い素質の片鱗も見せた一戦だった。その後は成績も上昇の一途で現在に至る。レース内容も良くなりまだまだ成長が見込める大器。

A級
主力選手



齋木翔多 静岡 115期

デビューして2年が経つ齋木翔多だが、ようやく1、2班戦で安定した数字を残し始めている。武器は鋭いダッシュを生かした積極先行。そのダッシュの良さがゆえに後続が離れて単騎逃げの形になってしまう事も少なくはないが、それでも腐らずに積極的な走りを貫いている。戦うステージが上がれば上がるほどラインはしっかりしてくるし、持ち味は出し易くなるはず。このまま力を付けていけば、大化けする可能性は十分にある。同じダッシュタイプで積極策で力を付けて行った兄弟子の望月一成(静岡111期)が今年に入ってS級初優勝を果たしており、齋木にとっては最高のお手本。今後の成長に期待したい若手だ。

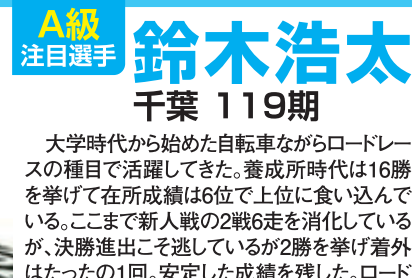
A級
注目選手



新村 穰 神奈川 119期

川崎をホームバンクにする期待のルーキー新村穰が初登場。学生時代から自転車競技に打ち込み、現在はナショナルチームに在籍して中長距離の走りを得意とする。競技でも今後の活躍が期待されるが、やはり競輪での注目度も上がってくる。新人戦の2場所は優出1回、2勝を挙げたが、ライン戦になった方が長い距離を踏める新村にとっては有利に働きそう。静岡での新人戦を終えた時には賞金を全額静岡市に寄付して話題になり、社会貢献の意識も強さが印象に残った。S級のトップクラス、そして3年後のバリ五輪に向け新村が新たなスタートを切るホーム戦に注目だ。

A級
注目選手

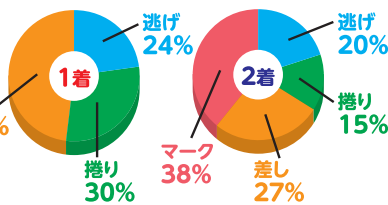


鈴木浩太 千葉 119期

大学時代から始めた自転車ながらロードレースの種目で活躍してきた。養成所時代は16勝を挙げて在在成績は6位で上位に食い込んでいる。ここまで新人戦の2戦6走を消化しているが、決勝進出こそ逃しているが2勝を挙げ着外はたったの1回。安定した成績を残した。ロード出身で脚質は地脚のようなが、バランス良くレースに対応できる印象。総合力が身に付けば更なる成長に期待できる。師匠はG1でもファンを沸かせてきたスピードスターの山中秀将(千葉95期)で、染谷幸喜(千葉111期)に次ぐ2人目の弟子となる。環境の良さもあり順調に成長していこう。

川崎競輪場バンクガイド

1センターの客席が取り壊され2角からバックへかけて風が吹き込むようになった為、バック追い風の傾向が強くなった。直線が長く、最終4コーナーから直線にかけてイエローライン付近が強襲コースを外を踏める選手が穴を演出する。



俺にまかせろ! 川崎仮面の

開催中
毎日
OA!

YouTube

ニコニコ放送
Nico Nico LIVE



競輪は適度に楽しみましょう。車券の購入は20歳になってから。

【発行】川崎競輪 【監修】川崎サイクル